

「サクライロ」

作編曲/作詞 木下たまき

幼い頃から 気付かないで見てた 君の横顔
離れた隙間を埋めたい言い訳なの 前に踏み出そう

そっと触れた手と手がふいに
ドキンと胸が高鳴る その瞬間
気づく初めてのこと

重なる幾千のメモリー
波打つ鼓動は 特別なキセキ
少し変だよ ね すれ違う肩に
思わず君の姿を 探してた

花びら水たまりの上に映った 雨上がりの日
笑いあえた あの頃の君の面影が ただ懐かしくて

片隅にしまいこんでいた 砂時計
止まっていた時間（とき）が
すこしだけ 前に動き始めたんだ

満開に咲く桜にメロディー
歩き出したのは 小さなストーリー
味気ない空に ひとひらの花
一歩足を出す 勇気をくれたね

駆け出した真っ白な世界で
はじめに飛び込んだ 君への想い
また流れてく 果てしない時間を
隣で歩いていくよ 手を握って

目を閉じれば 気づく息吹に
忘れてたものが ほら少しずつ開いて
過ぎた季節は もう戻りはしないで
もっと先に 飛べる気がしたんだ

咲き誇る花びらにメロディー
波打つ鼓動は 特別な季節
少し変だよ ね
見つめ合う君の手と手を吹き抜けた風は
サクライロ